

『愛の十万人運動』 『愛と正義を否定する』

この『愛』は一方的なもので、支援するとかされるとか、意見を押し付けられるような関係性がある間柄で使われると、強い側の捉える愛や正義を押し付けられるという、父権主義そのものを表す言葉だったのではないか。

本来は、本当にそれが愛情のある行為なのか、愛情を感じる行為なのか、正義なのか、相手からも感謝される関りなのかは双方の話し合いと合意が必要なのだろう。

パターンリズム（父権主義）は、その部分が欠落したり、その部分をないがしろにしている場合におこるのかもしれない。

宮城福祉オンブズネット「エール」 権利擁護ミーティング

日時 令和7年1月11日(土) 13時30分～16時30分

場所 仙台国際センター2階大会議室『橘』

テーマ 『パターンリズム（父権主義）からの脱却』 = 意思決定支援

内容 ① 基調講演

大橋 洋介（弁護士：エール理事長）

② 公開意見交換会（参加者間の意見交換を含む）

（発言者）及川 信一（当事者）

佐々木悠輔（弁護士：エール理事）

鈴木みゆき、高橋 利行、佐藤健太郎（社会福祉士：エール理事）

（助言者）大橋 洋介

（進行）小湊 純一（社会福祉士：エール副理事長）

定員 200名

参加費 無料

申込み QRコードから 1月6日まで

